

I 道徳教育の目標は

学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養います。道徳的心情は、道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び悪を憎む感情のことです。道徳的判断力は、それぞれの場面において善悪を判断する能力です。道徳的実践意欲と態度は、道徳的心情や道徳的判断力によって価値があるとされた行動をとろうとする意欲や態度です。

II 道徳の時間（道徳教育のかなめ）は、……………心にひびく時間にします。

道徳的価値及び人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する時間です。資料を通じて自己を見つめる力を育て、仲間や多くの人々との意見交流を通して自ら生きる規範を育てることです。児童にとって道徳の時間は、自ら生きる指標となる様々な価値と出会い、新たな自分自身と出会う時間でもあります。

III 道徳の内容を4つの視点からとらえると

- 1 主として自分自身に関すること
- 2 主として他人とのかかわりに関すること
- 3 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること
- 4 主として集団や社会とのかかわりに関することです。

IV 4つの視点に含まれるすべての内容項目を指導します

- 1 低学年（1・2年）…16項目
特に基本的な生活習慣や善悪の判断，社会生活上のルールを身に付けることです。
- 2 中学年（3・4年）…18項目
特に自主性，協力して助け合う態度を育てることです。
- 3 高学年（5・6年）…22項目
特に自立心，国家・社会の一員としての自覚を育てること。また，なやみや心の揺れ，かつとう等の課題を積極的に取り上げ考えを深められるようにします。

V 道徳の時間の評価は

道徳の時間は、児童の人格そのものにはたらきかけて児童の道徳性を高めるものであるため、数値などによる評価はしません。教師と児童の心のふれあいを通して、児童の道徳性を共感的に理解して評価します。

○ 日々の生活の様子から ○ 道徳の時間に使ったこどもの自己評価 ○ 日記や心のノートから

VI 保護者へのお願い

家庭は、子どもの人格形成の場であり、主体性を育む上で心の支えとなる所です。子どもたちは、礼儀、感謝、思いやりなど人間生活に必要な基本的な道徳的価値を家庭で身に付けます。そして、学校生活の中で、社会性や協調性，社会生活上のルールや基本的モラルなど，道徳的実践力を付けていきます。

学習の中では、道徳の内容を分かりやすく表した資料やワークシート（心のノート等）を用い、道徳性を養っていきます。内容によっては、保護者の方に記入をしていただくこともありますので、ご協力をお願いします。

月	学習内容	学習のねらい
4	すなおにのびのびと※ 本当の正義 「アンパンマン」誕生！ ぼくのわたしのよいところ 「ぼくのわたしのじまん大会」	・自分のことを自分で解決し明るい気持ちで過ごす態度をのばす。1-(4) ・平和を大切にし、すべての生命を尊重する心情を育てる。3-(1) ・努力し、向上しようとする心情を育てる。1-(2)
5	ともだちとなかよく※ よいと思うことはすすんで※ 生き物があぶない 「どうぶつたちがいない」 フレンドタイム	・友だちと仲良く生活しようとする気持ちを高める。2-(3) ・良いことと悪いことの区別をし、良いと思うことをすすんで行う心情を養う。1-(3) ・自然や動植物を愛し、自然環境を大切にしようとする気持ちを高める。3-(2) ・いろいろな友達がいることを知り、仲良くしようとする気持ちを育てる。
6	友だちにしてあげられること 「ひとみちゃんみんなでまっています」 気持ちの良いあいさつ 「あいさつ」 アオギリ 同じかな違うかな 「ハートぴったりはだあれ」	・身近にいる人に温かい心で接しようとする心情を育てる。2-(2) ・正しい言葉や、きちんとした態度で、明るく人に接する態度を育てる。2-(1) ・動植物の世話を通して、優しい心情を養う。3-(2) ・それぞれの違いを認め、お互いを尊重して生活する心情を養う。2-(3)
7	お世話になっている人にかんしゃして※ ふるさとに親しみをもって※	・家や学校や地域でお世話になっている人に感謝する態度を育てる。2-(4) ・郷土の文化や生活に親しみをもつ心情を養う。4-(5)
9	今、すぐに 「あとまわしおぼけがでたぞ！」 よいところを伝え合う 「あなたってこんなにすてきだよ」 みんなの物を大切に 「なくなった本」 すがすがしい心で※	・自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う態度を育てる。1-(2) ・お互いの良いところを知り、自他を肯定して生活する心情を養う。2-(3) ・規則を破って行動することの間違いに気付き、みんなが使う物を大切にしようとする心情を育てる。4-(1) ・美しいものや崇高なものに触れ、すがすがしい心情を養う。3-(3)
10	家族のやくに立つことを※ 物の置き場所 「こうたのあさ」 よいことすすんで 「しずかにしてください」 身のまわりの整理 「学校のつくえの中」	・父母などの温かい心を知り、感謝の念や親愛の心を持つようとする心情を養う。4-(3) ・自分の身のまわりを、整理整頓しようとする態度を育てる。1-(1) ・善悪を的確に判断しながら、進んでマナーを守ろうとする態度を養う。1-(3) ・自分の身のまわりを、整理整頓しようとする態度を育てる。1-(1)
11	家族の手伝い	・家族の一員として進んで働こうとする意欲・態度を育てる。

<p>12</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>3</p>	<p>「おつかいマン」 情報モラルについて考えよう</p> <p>学校の生活を楽しく</p> <p>新しい命 「ハムスターのあかちゃん」</p> <p>心をこめて 「ごめんなさい」 生き物の気持ちになって 「これでいいのかな」 はたらくって楽しい 「せいとんがかり」</p> <p>良いこと 悪いこと 「こまったさんをさがせ！」 町の自慢 「学校のまわりには」 真心のこもった言葉 「かさ」</p> <p>困っている友だちに 「はんぶんでいいよ」 食べ物が足りない子どもたち 「せかいのどこかで」 小さかった頃 「ぼく、わたしはだあれ」</p> <p>自然の美しさ 「空からのプレゼント」 ずっと仲良く 「2年2組のやくそく」</p>	<p>4-(3) ・顔を合わせての会話ではない（メールや手紙）ときも、温かい心で接し、思いやりをもとうとする態度を育てる。</p> <p>2-(2) ・学校が好きになり、先生や友だちと一緒に楽しい学校生活を送ろうとする心情を育てる。4-(4) ・生命の大切さに気づき、生き物を大切にしようとする心情を養う。3-(1)</p> <p>・過ちを素直に認めることにより、ともに気持ちよく生活しようとする心情を養う。1-(4) ・自然に親しみ、優しい心で世話をしようとする気持ちを高める。3-(2) ・働くことで役に立つ喜びや、やりがいを感じて、みんなのために働こうとする心情を育てる。4-(2)</p> <p>・自分でできることは自分でし、安全に気持ちよく生活をしようとする態度を育てる。1-(1)</p> <p>・郷土の文化に親しみ、愛着をもつ態度を育てる。4-(5) ・気持ちの良い、真心のこもった対応を心がけようとする態度を育てる。</p> <p>・困っている人を見かけたら、手をさしのべて自分にできることを精一杯してあげようとする態度を育てる。2-(2) ・命を大切に作る心情を育てる。3-(1)</p> <p>・育つ過程の出来事を知り、慈しんで育ててくれた人々に感謝する心情を養う。2-(4)</p> <p>・美しいものに触れ、すがすがしい心をもとうとする心情を養う。3-(3) ・学校が好きになり、先生や友だちと一緒に楽しい学校生活を送ろうとする意欲と態度を育てる。4-(4)</p>
--------------------------------------	--	---